

社協だより

福祉とさちよう

NO. 99

平成30年7月発刊



あったかふれあいセンター
平石の集い・男性によるカレー作り

皆さんのこの笑顔！朝から「見て、I°の構えてきた」と、やる気満々です。地域の採れたて野菜を使い、男性達が腕をふるってカレーを作ってくれました。

土佐町社会福祉協議会・ボランティアセンター

〒781-3401
土佐町土居 206 保健福祉センター内
82-1067 82-1069 (FAX)
e-mail tosasameura@shirt.ocn.ne.jp



社協 facebook はこちらから→

平成 29 年度 事業報告

事業総括

平成29年2月7日、国は「我が事・丸ごと」地域共生社会の実現に向け改革工程を示し、高知県においても、「高知型福祉・あったかふれあいセンター」を基盤に地域福祉の推進を強化し、生き辛さを抱えるすべての方々を包括的に支援していく体制づくりに向け、地域福祉の重要性が益々高まってきた年でした。

近年、土佐町には県内外から健康づくり・福祉活動等の視察研修が相次ぎ、行政・社協・住民が協働して福祉活動を推進している体制が注目されています。連携の強みを生かした、包括的ケア体制の構築にむけて一層努力が必要です。

社会福祉協議会は、地域の皆様の協力なしには活動できません。そのためには、活動内容をしっかりとお伝えすることが大切です。



在宅福祉部

平成29年度には新たに生活支援コーディネーターを設置したことにより、行政のコーディネーターとの役割分担や包括支援センターの各事業との関連について協議してきました。個別支援においても、病気や障害・経済など重複した生活課題がある方に対して、伴走的な支援を行うため、関係機関と連携を密にチームにおける支援体制をつくることを目指し、嶺北においては、自立支援協議会を通じた連携の強化により就労支援や相談体制の充実を図りました。

訪問介護事業においては、介護保険法の一部改正により地域支援事業に移行されたことから、サービス利用者が、地域における見守りや助け合い活動の中で住み慣れた家で暮らせるような支援が求められています。地域包括支援センターや担当ケアマネジャーと密に連携し、自立生活にむけた支援に努めてきました。今後引き続きサービスの需要と供給のバランスに応じ、訪問介護員の確保に努めます。



地域福祉部

地域福祉活動計画の活動支援とアセスメントによる支援が徐々に形になり、各地区で主体的な活動ができるよう、行政の地域担当職員と共に、地域力にあわせた支援を行ってきました。

あったかふれあいセンターは、地域サポーターとの打ち合わせを密に行い、地域力を活かしたレクリエーションをおこなっており、背みのづくり保存会の活動をはじめ、地藏寺では畑作業による農作物の収穫をするなど、地域が主体的に取り組みを行うことにより、生きがい活動となっています。また、あったかふれあいセンターフェスティバルでの展示を目標に取り組みをすすめ、それぞれの地域性を活かした活動ができています。

また、サロンコーディネーターが地域から得た情報を在宅福祉部に報告し包括支援センターと連携した個別ケア支援ができており、徐々に連携体制が整いつつあります。

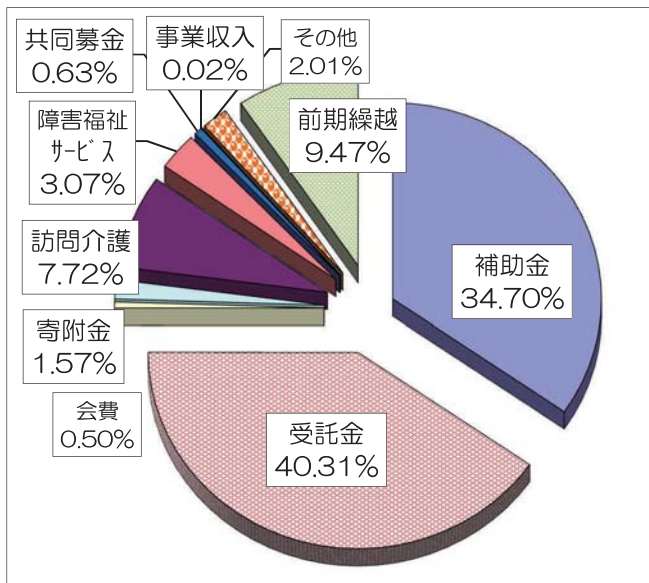
課題としては、将来的に持続可能な運営に向けて住民の主体性を大切にしながら、地域力を維持していかなければならず、今後益々集落機能が低下する現状を含めて行政とも協議し連携していきます。



収支報告

収入の部

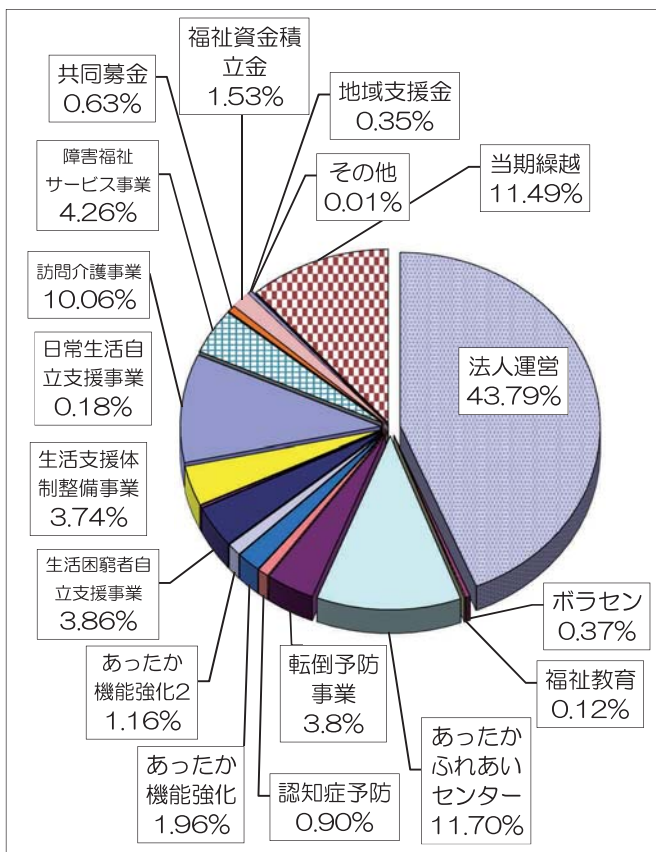
合計金額 85,501 千円



補助金	29,672 千円
受託金	34,462 千円
会費	424 千円
寄附金	1,345 千円
介護報酬等	6,602 千円
障害福祉サービス	2,629 千円
共同募金	535 千円
事業収入	17 千円
その他	1,720 千円
前期繰越金	8,095 千円

支出の部

合計金額 85,501 千円



法人運営費	37,439 千円
ボランティアセンター	313 千円
福祉教育	100 千円
あったかふれあいセンター	10,000 千円
転倒予防事業	3,358 千円
認知症予防事業	772 千円
あったかふれあいセンター(機能強化)	1,674 千円
あったかふれあいセンター(機能強化2)	988 千円
生活困窮者自立支援事業	3,300 千円
日常生活自立支援事業	150 千円
生活支援体制整備事業	3,199 千円
訪問介護事業	8,602 千円
障害福祉サービス事業	3,641 千円
共同募金	535 千円
福祉資金積立	1,305 千円
地域支援金	300 千円
その他	5 千円
当期繰越金	9,820 千円



福祉教育・ボランティアセンター事業・転倒予防事業・認知症予防事業
 訪問介護事業（介護保険・自立生活支援・介護予防事業）
 障害福祉サービス事業・相談支援事業（障害者・児）・生活困窮者自立支援事業
 日常生活自立支援事業・あったかふれあいセンター・あったかふれあいセンター機能強化
 生活支援体制整備事業・老人給食・地域の集い活動支援・社会福祉大会
 心配ごと相談所・総合相談窓口・広報活動・団体事務局・その他福祉事業

※ 事業報告書・決算報告書等は社協事務所にてご覧いただけます



人生を楽しく！！あなたのセカンドライフを応援します！！

Senior citizen's club

元気ハツラツ老人クラブ♥

生涯学習で より豊かな人生を！

学ぶ意欲が高い方々が集まっています。
生き生きと暮らすために、学ぶことはとても楽しいものです。

平成29年度は、町内ですすめられている色々な事業について視察研修を行いました。

(NPO 法人 SOMA にて)



いつまでも輝き続ける



ダンスクラブ・SONG クラブなど多彩な活動があります。

「若いねえー！！ 綺麗よ！！ 憧れる！！」という言葉をかけてもらえることは、いくつになっても嬉しいもの。いつからでもどんなことにもチャレンジしていく精神を維持できることは、クラブ活動の魅力です。

気分がすーっとするスポーツ



輪投げ大会を実施し、みんなで和気あいあいと和やかにスポーツを楽しみます。中学生のみなさんとの交流もあり、日ごろ触れ合うことの少ない中学生たちの優しさやかわいさに触れ、心も癒されます。

趣味や経験を活かす



教えられたり教えたり、趣味や経験を活かして、地域活動に貢献しています。自分が好きな事で仲間を集め、楽しむ！褒められるということは、次の意欲につながります。映画クラブ・花クラブの会員は、定期的に花の寄せ植えなどを行って楽しんでいます。また、お茶の生産活動も行い、地域貢献活動として広がっています。

共につながり支え合う



研修旅行では気の合う仲間と、楽しい思い出ができます。昨年は高松方面へ行き、うどんをつくる体験などをして楽しみました。女性部員の旅行も実施し豪華客船の見学やカラオケボックスなどめったに行けないところに行ける！と好評でした。毎年、地域の親睦を図るため、バーベキュー大会も実施し盛りあがっています。



あったか ふれあい センター

3地域(地蔵寺・南川・瀬戸)をモデルに平成21年9月から始まり、現在は、土佐町内の全小学校区で“集い”を開催するようになりました。

年間約9000人(延べ)の方の利用がある集いは、毎年進化しており、地域の方々の「こんなことがしてみたい!」という声をカタチにする取組みが増えてきつつあります。

“あってよかった”と言える集いの場づくりを、これからも地域の皆様と一緒に考えていきます。



“やりたい”をみんな
で実現できる場。
日頃の悩みも話せる場。
送迎ありで誰でもOK!



みんなあ、1回来てみんかよ?

今年もやります! 子どもたちが地域とふれあう一日☆

あったか夏休みプロジェクト

相川

7月27日(金)

午前⇒ 竹を使っておもちゃをつくろう

午後⇒ プール・川遊び、おやつ

瀬戸

7月31日(火)

午前⇒ “みんなで” お昼ごはんづくり

午後⇒ 瀬戸川を満喫! 川遊び、おやつ

参加には事前に申し込みが必要です。申し込み・お問い合わせは社協(82-1067)まで

あったか推進会議



『ここにおいてよかったねえ』
といえるまちづくりの実現のために

住んでいる地域が暮らしやすい場所になるよう、住んでいる人達が
地域の課題や自分たちの出来ることを話し合い、
地域づくりを一緒に考えていきます。

ひとりでおるよりも、つどい
へ出てきたらからだもこころ
も元気になりゆう気がする。

いままでの活動を振り返って
みましょう。

やっぱりいつまでも元気にすご
したいよね。

人と話をするこゝも、介護予防
につながるって聞いたな。

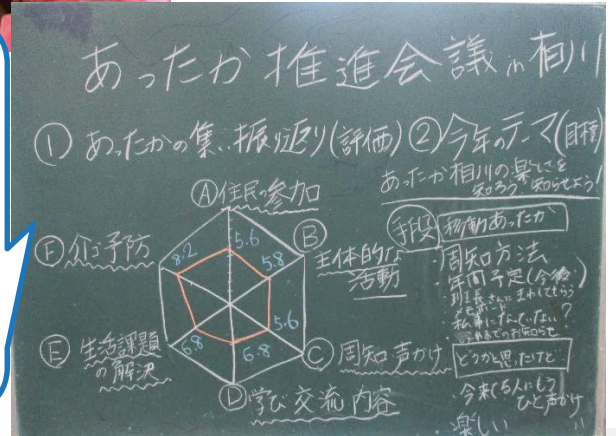
地
域
の
事
を
話
し
合
い
の
場
を
見
つけ
よ
う



だんだんと音が聞こえづらくなっ
てきゆう人が多いよね。どんなこと
に困っちゃうがやろうか。

あったか推進会議は、日頃から
あったかふれあいセンターに
参加する地域のみなさんを
中心として開催されています。

そ
う
し
て
の
目
標
が
見
え
て
く
ら
い



まつい みのり
松井 美紀

(社協)

わたしたち生活支援コーディネーターは、サロンや
つどいの場、お宅を訪問して地域のみなさんが元気に暮ら
す秘けつについて教えてもらっています。また、「こんな
ことができれば…」「こんなことに困っている」などのつ
ぶやきを集めています。見かけたらぜひ、気軽に声をかけ
てくださいね♪



やまくび みさお
山首 美三夫 (役場 健康福祉課)



第5次地域福祉活動計画

地域の皆様からのご寄附が地域の福祉活動に役立てられています

皆様からのご寄附の一部は「福祉基金地域支援金事業」として、旧小学校区単位で立てた活動目標の達成にむけて取り組む団体の活動助成金として活用されています。

今回、平成29年度にこの事業を活用した3団体の取り組みを紹介します。

- 【団体名】** いしはらの里協議会（代表 筒井 良一郎）
【基金助成金】 106,000 円
【活動目標】 みんなの足（交通の便）移動手段を考えよう
みんなで伝統文化行事を盛り上げよう
みんなで集える場をつくろう
みんなでみんなの拠点を考えよう

- 【事業内容】** 夏休み期間中に、小学生と地域の方々が交流するイベント「石原サマースクール」を学校応援団や教育委員会、社協等多機関と連携し実施。



- 【団体名】** 平石地区（代表 西村 尚）
【基金助成金】 97,000 円
【活動目標】 学校の活用について考えていこう・防災を進めよう
【事業内容】 高知大学えんむすび隊を招き、学校の活用について一緒に考えアイデア出しをする機会を作ったり、道沿いにある吊り橋のかずら切りや修復など、景観づくりの作業も行った。



- 【団体名】** 相川4地区長会（代表 上田 治）
【基金助成金】 97,000 円
【活動目標】 子どもから大人までみんながイキイキと暮らせる地域づくりを進めよう
旧相川小を中心とした地域づくりを進めよう
【事業内容】 相川地域の PR イベント「相川ららら」を実施し、その支援を行った。また、旧相川小のグラウンドにて愛校作業を実施。子どもから大人まで、約60名の参加で行った。



平成30年度は、森・平石・相川小学校区の3団体の助成が決定しました。

相談窓口★個別支援



私たちは、身近で気軽に相談できる体制をとるため、生活支援コーディネーターや生活困窮者自立支援の相談支援員、障害者総合支援の相談支援専門員、訪問介護の介護福祉士、また日常生活自立支援の専門員等を配備し、土佐町地域包括支援センターや行政、民児委員等と連携して、あなたの生活の課題解決に向けて、一緒に考え、寄り添って支援にとりくんでいきます。

昨年度は、経済や生活、保健医療福祉サービスやボランティア活動について等60件以上の相談をお受けし、情報提供や紹介もしています。

経済的な支援が必要な場合は貸付や、家計相談の対応も検討しながら、より自立した支援をめざしていきます。



かんぱうう!

話を聞いてもらうと、やる気が出てきた

たまには外の空気を吸うのも良いかも。



参加者
大募集

子どもから高齢者、障害のある人もない人もだれもが住みやすい環境づくりを推進するために、学習会や活動支援等をしています。今回の手話教室は、よこうち高知手話サークルの方々の協力を得て、手話が身近なコミュニケーションの一つになる、きっかけづくりを目的に開催します。

はじめての👉手話教室

手話は、手や身振りで会話することができる伝達手段です。簡単なあいさつや自己紹介の手話表現を学んで、コミュニケーションの和を広げてみませんか？参加費は無料でどなたでも参加できます。お誘いあわせてご参加ください。

【日時】 7月28日（土）午前9：30～12：00

【場所】 土佐町保健福祉センター

【持ち物】 筆記用具・飲み物

【講師】 よこうち高知手話サークル 和田英二 氏

収集ボランティアについて

家庭に居ながら手軽にできるボランティア活動として、収集活動があります。アルミ缶のプルタブ収集は、貴重な資源を再利用するというエコ活動にもつながります。

★社協で受け付けているもの

★集めたものはどうなる？



プルタブ



活動資金として収集している
とんからりんの家に届けます



リサイクル業者へ届け、そこで換金され、活動資金として活用されます



書損じハガキ



郵便局で1枚5円で新しいハガキに交換し、社協で利用させてもらっています



H29年度はボランティア活動支援や一人暮らしの方への見守りに利用されました



使用済み切手



高知県ボランティアセンターに届けます



整理された切手は換金業者で換金し、災害時のボランティア活動に活用されます

★小学校でのペットボトルキャップ・プルタブ収集は終了します

土佐町小学校はこれまで福祉活動に役立てたいとキャップとプルタブの収集を行っていましたが、リサイクル業者への輸送が困難になったことから収集を終了します。これまでご協力頂き、ありがとうございました。

※ペットボトルキャップはイオン高知店、旭町店で収集しています

収集活動の行方や、集め方についてご理解いただき、
ご自身にあった形で収集ボランティアへのご協力をお願いします

ひよこぐみ写真館



さん ぺい し お
上野上 三瓶 惇生 ちゃん

平成29年7月4日生まれ パパ 駿 さん
ママ 亜矢 さん

お姉ちゃん
そお
素生ちゃん



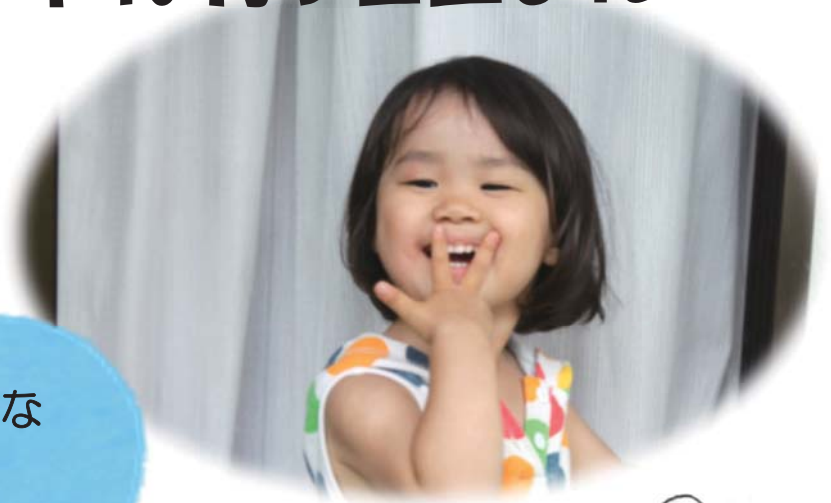
やさしいお姉ちゃんが
大好き！
一緒にいっぱい
遊ぼうね！！



まつもと し ほ
駒野 松本 志穂 ちゃん

平成27年10月3日生まれ

パパ 仰 さん
ママ 千加 さん



とにかくおしゃべりがとまらない
女の子です（笑）。
このまま、この子らしく育てていっ
てくれたら、と思っています。



ご寄附をいただきました

自：H30. 4. 1
至：H30. 6. 30

地区名	氏名	金額	備考
高知市	西村伸一様	1,000,000	事業資金
	たんぽぽの会様	24,179	事業資金
平石	川村稔様	100,000	香典返し

以上の方々からあたたかいご寄附をいただきました。ありがとうございました。



平成30年度 社協会費協力のお願い

住民の皆様と共に「ここにおいてよかった」と言えるまちづくりをめざし、役職員一丸となって福祉事業に取り組んでいます。福祉教育や社協運営に活用する為の資金として、皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いいたします。



+ 赤十字・活動資金募集へのご協力ありがとうございました。



平成29年度
日赤奉仕団中央東地区研修会の様子
(あじさいホール)

おかげさまで皆様からご協力いただき、562,650円（6月末現在）の活動資金を高知県支部に全額送金いたしました。

この募金は、災害救援や献血事業など、日本はもとより海外においても多くの人命を救う為に使われています。

日本赤十字社土佐町分区長 和田 守也

